

# 第35回 日本二分脊椎研究会

The 35th Annual Meeting of the Japanese Spina Bifida Study Society

プログラム・抄録集

テーマ **こども病院が考えること、  
成人施設ができること**

会期 **2018年7月14日(土)**

会場 **障害者スポーツ文化センター横浜ラポール**  
〒222-0035 神奈川県横浜市港北区鳥山町1752

会長 **山崎 雄一郎**  
神奈川県立こども医療センター泌尿器科



# 第35回 日本二分脊椎研究会

The 35<sup>th</sup> Annual Meeting of the Japanese Spina Bifida Study Society

プログラム・抄録集

テーマ こども病院が考えること、  
成人施設ができること

会期 2018年7月14日(土)

会場 障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール  
〒222-0035 神奈川県横浜市港北区鳥山町1752

会長 山崎 雄一郎  
神奈川県立こども医療センター泌尿器科



# 会長挨拶



第35回日本二分脊椎研究会

会長 山崎 雄一郎

神奈川県立こども医療センター 泌尿器科 部長

この度、第35回日本二分脊椎研究会を2018年7月14日(土)に横浜市において開催させていただきます。小児病院では二分脊椎児に対して複数診療科で胎児期・出生時から対応しており、本研究会も過去7回、小児病院の脳外科、小児外科、整形外科、リハビリテーション科が担当しております。歴代会長名簿を拝見して驚きましたが小児病院の泌尿器科が主催させていただくのは初めてであり、大変光栄に存じます。

テーマは私の個人史から「こども病院が考えること、成人施設ができること」としましたが、これまで同様、自由に演題を募集し活発な討議を期待しております。加えて私自身が小児病院に赴任して15年を超え、大学病院時代はあまり意識しなかった問題、最近クローズアップされている問題を二つトピックスにしたいと思います。一つは排便管理です。とりわけ順行性洗腸など積極的排便管理を行ってきたお子さん達が成長して小児病院を離れるときどうすべきか、困ったときに成人医療施設の何処に相談したらよいのか提示できないという問題に直面しております。看護、小児外科、泌尿器科などから思春期・移行期の排便管理に関する問題点や具体的な取り組みについてご発表いただければ嬉しい限りです。もう一つは胎児診断とマネジメントです。現在開放性脊髄膜瘤のお子さんの多くは胎児診断されております。さらに米国では胎児治療という選択肢について説明することがルチン化しているようです。こういう時代において誰が、どのような説明をすることが家族にとってのぞましいのか、生まれてきたこどもにとってよりよい対応なのか議論できればという思いがあります。当院産科やNICUの取り組み方などもご紹介しつつ、最近の知見などのご紹介が出来ればと考えております。

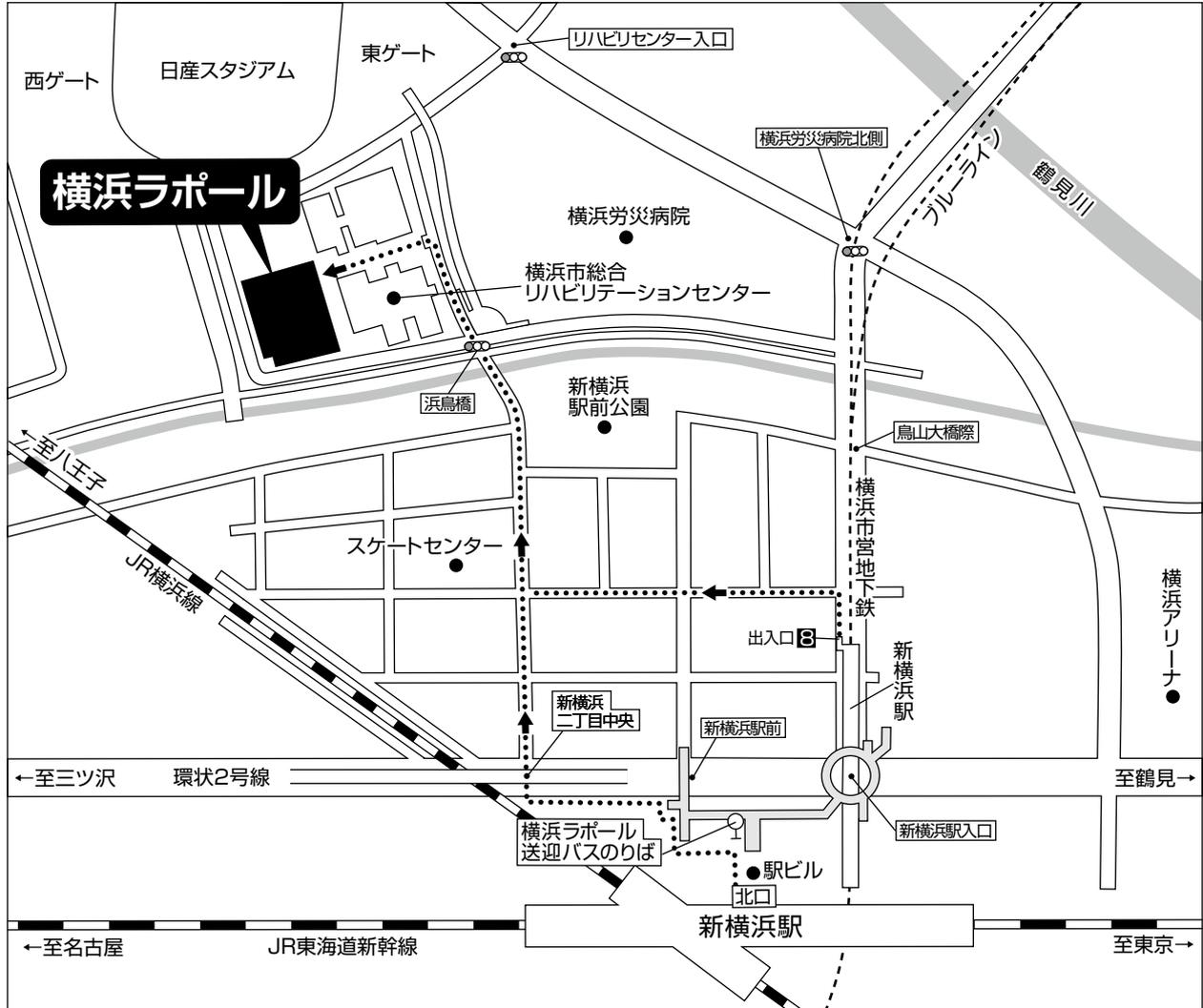
教育講演には自治医科大学附属病院外科教授の味村俊樹先生に便秘・便失禁について医療者のみならずご家族やコメディカルの皆様にもわかりやすいご講演をお願いいたします。会場はJR新横浜駅近くにあり、羽田からの空港バスも駅には乗り入れておりますので、研究会開始時間・終了時間を全国から日帰り可能な時間に設定する予定です。多くの会員の皆様のご参加を心からお待ちしております。

# 会場アクセス図

障害者スポーツ文化センター

**横浜ラポール**

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752



## ■ 新横浜駅から徒歩の場合

- JR横浜線「新横浜駅」(北口)から
  - 横浜市営地下鉄「新横浜駅」(8番出口)から
- 徒歩約10分

## ■ 新横浜駅から送迎バス(無料)をご利用の場合

新横浜駅前(北口)から、

横浜市総合リハビリテーションセンター／横浜ラポール専用(無料) 約5分

※送迎バスは障害のある方の優先利用となっておりますので、あらかじめご了承ください。

時刻表は横浜ラポールのHPにて確認できます。

## ■ 車をご利用の場合

地下駐車場がございます。駐車場は、障害者車両(特に移動が困難な方)優先です。

羽田空港から新横浜駅までは空港バスが運行しています。(所要時間は約40分)

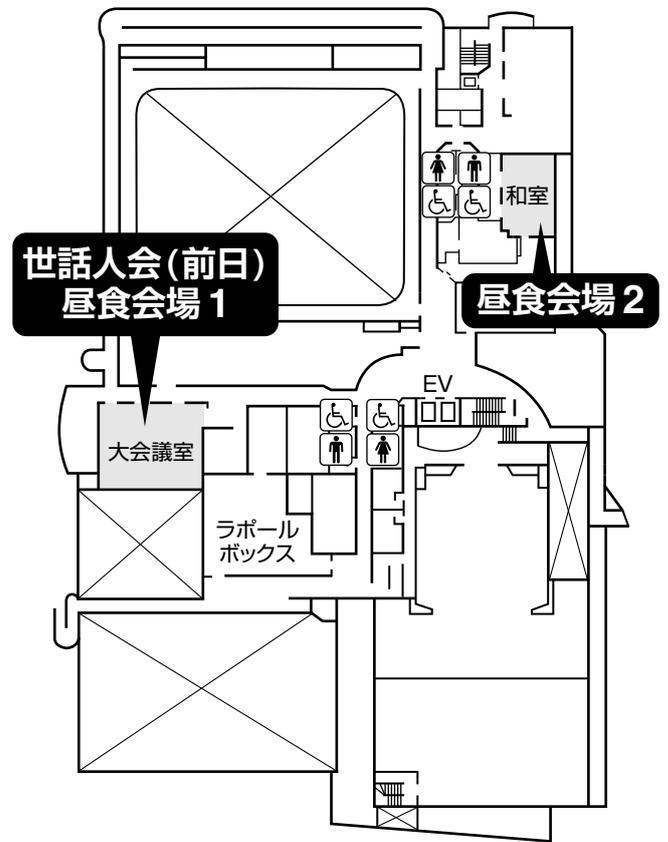
詳しくは、京浜急行バスのHPをご覧ください。

# 会場案内図

1F



2F



# 参加者の皆さまへ

## 1. 会 場

障害者スポーツ文化センター横浜ラポール1階「ラポールシアター」です。P3の会場案内を参照してください。

## 2. 参加登録

9時30分から受付を開始します。参加費と引き換えに領収書を兼ねたネームカードをお渡し致します。会場内ではネームカードの着用をお願いします。ネームカードの再発行は致しかねます。

【参加費】	医 師	10,000円
	医療関係者・その他	5,000円
	患者さん・ご家族	無 料(昼食引換券なし)

【受付時間】 7月14日(土) 9:30～16:00

## 3. プログラム・抄録集

購入を希望する場合は、1,000円で販売いたします。

## 4. 呼び出し

会場内での呼び出しは原則として行いません。携帯電話等は、マナーモードに設定してください。

## 5. 日本二分脊椎研究会新入会受付

新規会員登録の手続きは、受付の学会事務局で行います。なお年会費のお支払は頂けません。

## 6. 昼 食

昼食を用意しております。昼食会場で昼食引換券をご呈示ください。会場は2階「大会議室」および「和室」の予定です。なお、ラポールシアター内は飲食禁止です。

## 7. クローク

シアター1階にクロークを設けますのでご利用ください。

## 8. 世話人会

日 時：7月13日(金) 17:30～19:00

場 所：障害者スポーツ文化センター横浜ラポール 2階「大会議室」

## 9. 本研究会に関するお問い合わせ先

### 【第35回日本二分脊椎研究会事務局】

神奈川県立こども医療センター 泌尿器科  
〒232-8555 横浜市南区六ツ川2-138-4  
TEL：045-711-2351（代表） FAX：045-721-3324  
E-mail：urokcmc@gmail.com

### 【日本二分脊椎研究会事務局】

順天堂大学医学部小児外科教室  
〒113-8421 東京都文京区本郷2-1-1  
TEL：03-3813-3111（内線3339） FAX：03-5802-2033

### 【日本二分脊椎症協会】

協会ホームページ <http://sba.jpn.com/>

## 10. 禁煙のご協力

会場内は禁煙ですので、ご協力をお願いします。

## 日本二分脊椎症協会会員・患者・ご家族の皆さまへ

事前にご案内の通り、本研究会への参加傍聴は無料です。

協会会員・患者・ご家族の皆さまは、障害者スポーツ文化センター横浜ラポール1階「ラポールシアター」前の受付に12時以降にお越しください。

開会時の受付時間が限られているため、午前中の参加受付および午前の部（一般演題1～4）の発表の傍聴はご遠慮いただきます。また発表演題に関するご質問、ご意見は受け付けておりません。会の進行によろしくご協力ください。

# 演者の皆さまへ

## 1. 発表時間

- 1) 一般演題の発表時間は5分間、質疑応答3分間です。
- 2) 企画セッション1, 2の発表時間は6分間、質疑応答4分間です。
- 3) 次演者の方は、発表開始の15分前までに会場内の次演者席にご着席ください。質疑など進行は座長の指示に従ってください。

## 2. 発表受付(PC 受付)

- 1) 本学会は、PC プレゼンテーションのみの発表になります。  
発表の60分前までに、PC 受付でデータの確認または、お持込 PC の外部出力確認を行ってください。  
※一般演題1および2の受付は開始30分前までをお願いします。
- 2) お預かりしたデータは事務局が責任をもって消去いたします。
- 3) ノート PC をお持ち込みの場合は、PC 受付での確認後、演者ご自身でノート PC を発表会場内のオペレーター卓へお持ちください。オペレーター卓は、次演者席傍にあります。

## 3. 発表形式

- 1) 発表はすべて Power Point による PC での発表です。
- 2) Windows の場合は、メディアによるデータ持ち込みとしてください。なお、動画をご使用になる場合は、発表データ確認の際に必ずお知らせください。音声の使用は出来ません。
- 3) Macintosh の場合は、ノート PC の持ち込みのみ対応いたします。
- 4) 発表ファイル名は「演題番号\_演者名」として作成してください(例:01\_発表太郎)。
- 5) 発表時は、発表者ご自身でキーボード、マウスで操作してください。発表者ツールは使用できません。

### 発表データをメディアにて持ち込まれる方へ

- 1) お持ち込みいただけるメディアは USB フラッシュメモリーです。  
(メディアは、ウイルス定義データを最新のものに更新された状態のセキュリティソフトで、メディアにウイルスが感染していない事を確認の上お持ち込み下さい)
- 2) OS とアプリケーションは以下のものをご用意します。  
OS : Windows 7  
アプリケーション : Windows 版 PowerPoint 2013  
フォントは OS (Windows7) 標準のもののみ、ご用意いたします。
- 3) 発表に使用する PC は全て XGA (1024 × 768) に統一しております。ご使用の PC の解像度を XGA に合わせてからレイアウトの確認をしてください。
- 4) 動画などの参照ファイルがある場合は、全てのデータを同じフォルダに入れてください。
- 5) 動画ファイルは Windows 7 (OS) 及び Windows Media Player11 の初期状態に含まれるコーデックで再生できるものをお持ちください (MP4、WMV 形式を推奨いたします)。

□ 発表にご自分の PC をご使用になる方へ

- 1) 会場では D-sub15 ピン (ミニ) のケーブルをご用意します。一部のノートパソコンでは外部出力 VGA 変換ケーブルが必要な場合がありますので、必ずお持ちください。



D-sub15 ピン (ミニ)



外部出力変換ケーブル例

注意：D-sub15 ピン (ミニ) 以外の接続はできませんのでご了承ください。

- 2) 個々のパソコンや OS により設定方法が異なりますので、事前にご確認ください。
- 3) 画面の解像度は XGA (1024 × 768) 推奨です。このサイズより大きいまたは小さい場合、画質の劣化につながります。
- 4) 動画をご使用になる場合は、発表データ確認の際に必ずお知らせください。音声の利用はできません。
- 5) 予め、スクリーンセーバー、省電力設定を解除してください。
- 6) 起動時にパスワード等を設定している場合は、そちらを解除しておいてください。
- 7) 受付で確認後に、ご発表予定時間の 20 分前までに講演会場オペレーター卓にお越しください。
- 8) 念のため、バックアップデータおよび AC アダプターを必ずお持ちください。
- 9) パソコンのトラブルによる映像の投影が不可能となっても、事務局では責任を負いかねますのでご了承ください。

## 座長の皆さまへ

担当セッションの 10 分前までに次座長席にお着きください。

各発表者の持ち時間を厳守させてセッションを進行してください。

質疑応答は各参加者席にあるマイクでご発言いただきます。

# 日 程 表

2018年7月14日(土) 横浜ラポール

## 1階 ラポールシアター

9:30	9:45~9:50	開会挨拶	会長：山崎 雄一郎(神奈川県立子ども医療センター 泌尿器科)	
10:00	9:50~10:25	一般演題1 [ 泌尿器(手術) ]	座長：百瀬 均(JCHO 星ヶ丘医療センター)	01~04
	10:25~11:00	一般演題2 [ 泌尿器(排尿管理) ]	座長：井川 靖彦(東京大学大学院医学系研究科 コンチネンス医学)	05~08
11:00	11:00~11:25	一般演題3 [ 脳神経外科 ]	座長：朴 永銖(奈良県立医科大学 脳神経外科)	09~11
	11:25~12:00	一般演題4 [ 整形外科 ]	座長：中村 直行(神奈川県立子ども医療センター 整形外科)	12~15
12:00	休憩30分 昼食(大会議室および和室)			
13:00	12:30~13:15	教育講演	協賛：コロブラスト株式会社 [ 難治性排便障害に対する経肛門的洗腸療法 ―二分脊椎による排便障害に対する効果を含めて― ]	
		演者：味村 俊樹(自治医科大学医学部 消化器外科)	座長：新開 真人(神奈川県立子ども医療センター 外科)	
	休憩10分			
	13:25~13:30	次期会長挨拶	次期会長：落合 達宏(宮城県立子ども病院 整形外科)	
14:00	13:30~14:20	企画セッション1	[ 移行期・成人期の排便管理の問題点 ]	1-1~1-5
		座長：山崎 雄一郎(神奈川県立子ども医療センター 泌尿器科)		
	14:20~15:20	企画セッション2	[ 胎児期から新生児期へ マネジメントの現状と展望 ]	2-1~2-6
15:00		座長：石川 浩史(神奈川県立子ども医療センター 産科)		
	休憩10分			
16:00	15:30~16:05	一般演題5 [ 導尿/排泄 ]	座長：鈴木 真由子(神奈川県立子ども医療センター 看護部)	16~19
	16:05~16:45	一般演題6 [ リハビリテーション ]	座長：芳賀 信彦(東京大学大学院医学系研究科 リハビリテーション医学)	20~24
17:00	16:45~17:20	一般演題7 [ 看護 ]	座長：鎌田 直子(兵庫県立子ども病院 看護部)	25~28
	17:20~17:55	一般演題8 [ 泌尿器(症例) ]	座長：橘田 岳也(北海道大学 泌尿器科)	29~32
18:00	17:55~	閉会挨拶	会長：山崎 雄一郎(神奈川県立子ども医療センター 泌尿器科)	

# プログラム

7月14日(土) 横浜ラポール 1階 ラポールシアター

9:45～9:50 **開会挨拶** 会長：山崎 雄一郎(神奈川県立こども医療センター 泌尿器科)

9:50～10:25 **一般演題1**

[ 泌尿器(手術) ]

座長：百瀬 均(JCHO 星ヶ丘医療センター)

**01 二分脊椎患者に対する膀胱皮膚瘻の治療成績**

樋口 まどか 北海道大学大学院医学研究院 腎泌尿器外科

**02 二分脊椎患者における腹壁導尿路造設術の長期成績**

田辺 和也 自治医科大学とちぎ子ども医療センター 小児泌尿器科

**03 二分脊椎の膀胱尿管逆流において逆流防止術のみで治療可能な症例を予測できるか？**

鈴木 裕子 あいち小児保健医療総合センター 泌尿器科

**04 膀胱拡大術を施行され現在も通院継続している二分脊椎患者の要因について**

林 豊 東京医科大学 消化器・小児外科学分野

10:25～11:00 **一般演題2**

[ 泌尿器(排尿管理) ]

座長：井川 靖彦(東京大学大学院医学系研究科 コンチネンス医学)

**05 脊髄終糸病変を有する症例の排尿管理の経験**

百瀬 均 JCHO 星ヶ丘医療センター 泌尿器科

**06 自己導尿導入後に有熱性尿路感染の発生頻度が高くなった二分脊椎症患者における尿流動態検査所見の検討**

築山 真由子 北海道大学病院 泌尿器科

**07 二分脊椎の尿路管理におけるミラベグロン投与の経験**

小川 隆敏 恵友病院 泌尿器科

**08 脊髄髄膜瘤および脂肪脊髄髄膜瘤年長児における下部尿路機能の検討**

佐竹 洋平 宮城県立こども病院 泌尿器科

**09** 当院での腸管利用尿路再建術時の脳室腹腔シャントの扱いについて

青井 瑞穂 国立病院機構岡山医療センター 脳神経外科

**10** 成人発症脊髄係留症候群による腰背部痛に対する係留解除術の効果

原 毅 順天堂大学 医学部 脳神経外科学講座

**11** こども病院が考えることと地域の中の成人施設が出来ること  
—二分脊椎児の超慢性期(キャリアオーバー、トランジション)の現実と対応—

高橋 義男 とまこまい脳神経外科 岩見沢脳神経外科 大川原脳神経外科病院 別海町立病院  
にわとりファミリー 小児脳神経外科

**12** 二分脊椎の股関節亜脱臼に対する白蓋棚形成術の治療成績

水野 稚香 宮城県立こども病院 整形外科

**13** 二分脊椎児の脊椎手術後における創部合併症に対する当院の工夫

小沼 早希 自治医科大学とちぎ子ども医療センター 小児整形外科

**14** 成人期に足部の手術治療を行った3例について

田中 弘志 心身障害児総合医療療育センター 整形外科

**15** 足底圧検査に基づく足底変形の新しい客観的評価方法の開発  
—二分脊椎症例の足底皮膚トラブル予防のために—

下川 尚子 佐賀大学医学部 脳神経外科

**難治性排便障害に対する経肛門的洗腸療法  
—二分脊椎による排便障害に対する効果を含めて—**

味村 俊樹(自治医科大学医学部 消化器外科)

13:15～13:25 **休憩**

13:25～13:30 **次期会長挨拶** 次期会長：落合 達宏(宮城県立こども病院 整形外科)

13:30～14:20 **企画セッション1**

座長：山崎 雄一郎(神奈川県立こども医療センター 泌尿器科)

**[ 移行期・成人期の排便管理の問題点 ]**

**1-1 逆行性洗腸を経験して**

後藤 久美子

**1-2 当院における二分脊椎患者の排便管理の移行期支援**

鎌田 直子 兵庫県立こども病院 看護部 皮膚・排泄ケア認定看護師

**1-3 順行性洗腸を経験して**

佐藤 のぞみ

**1-4 移行期・成人期の二分脊椎症患者における排便管理の現状と課題**

中村 恵美 東北大学 大学院 医学系研究科 小児外科学分野

**1-5 二分脊椎患者における ACE 管理の長期予後**

加藤 純爾 愛知県心身障害者コロニー 中央病院 小児外科

[ 胎児期から新生児期へ マネジメントの現状と展望 ]

- 2-1** 妻が妊娠8か月で胎児診断を受け、子供が脊髄髄膜瘤と告知され、  
出産後 NICU に入院し、夫(父親)の立場より感じたこと、学んだこと

クラフチック ウーカシュ

- 2-2** 胎児期から新生児期へ マネジメントの現状と展望  
～二分脊椎の胎児診断の現況

石川 浩史 神奈川県立こども医療センター 産婦人科

- 2-3** 二分脊椎の胎児診断 家族へのアンケート調査

柴崎 淳 神奈川県立こども医療センター 新生児科

- 2-4** 胎児脊髄髄膜瘤の全国調査

和田 誠司 国立成育医療研究センター

- 2-5** 胎児期から新生児期へ マネジメントの現状と展望  
～開放性神経管障害(二分脊椎)の出生前診断と疾患予防・治療～

佐々木 愛子 国立成育医療研究センター 周産期・母性診療センター

- 2-6** 脊髄髄膜瘤子宮開放手術：  
欧米胎児治療センターの経験から学ぶべきこと、日本で今準備すべきこと

渡邊 美穂 東京大学医学部付属病院 小児外科

**16 自己導尿の獲得を目標とした二分脊椎症児に対する作業療法**

橋浦 樹里 宮城県立こども病院

**17 清潔間欠導尿法を自分でおこなうために  
—作業療法士としてできること—**

小野 恵美 筑波大学附属病院 リハビリテーション部

**18 小児専門病院における外来看護師が実践する導尿指導の取り組み**

島崎 可奈 神奈川県立病院機構 神奈川県立こども医療センター 看護局

**19 直腸肛門奇形を合併した二分脊椎患者の排便管理に対し順行性洗腸を導入した1例**

林 豊 東京医科大学 消化器・小児外科学分野

**20 二分脊椎児・者における歩行能力後退例とその要因についての一考察**

遊佐 萌 北九州市立総合療育センター

**21 The Functional Mobility Scale の二分脊椎児への応用**

横井 恵巨 北海道立子ども総合医療・療育センター リハビリテーション課 理学療法士

**22 二分脊椎患者におけるリハビリテーションの現状と課題 ～第1報～**

稲川 恵 茨城県立こども病院

**23 明らかな運動障害を呈した脊髄髄膜瘤症例の理学療法  
—新生児乳児期の姿勢管理と粗大運動発達に着目して—**

竹内 知陽 あいち小児保健医療総合センター 診療支援部 診療支援室 リハビリテーション科

**24 二分脊椎児における自己の身体の視覚認知**

真野 浩志 東京大学医学部附属病院 リハビリテーション科

- 25** 成人期にある二分脊椎男性の性的経験・性情報に関する研究  
道木 恭子 帝京平成大学 ヒューマンケア学部 看護学科
- 26** 二分脊椎患者の発達段階に応じた疾患管理をサポートするために  
～外来開設からの第三報～  
菊池 麻衣子 茨城県立こども病院
- 27** 当院二分脊椎外来での新しい取り組み：質の高い継続性のある医療を求めて  
渡邊 美穂 東京大学医学部付属病院 二分脊椎外来
- 28** 葉酸は神経管閉鎖障害を予防する：医療職の認知率と推奨率  
岡井 いくよ 元グローバルアリーナ営業本部料飲

- 29** 母親による間欠導尿継続中に導尿用カテーテルが上部尿管に迷入した  
脊髄髄膜瘤の1例  
市川 和樹 JCHO 星ヶ丘医療センター 泌尿器科
- 30** 不妊治療を行い挙児を得ることが出来た成人二分脊椎男性の一例  
後藤 大輔 奈良県立医科大学 泌尿器科学教室
- 31** 成人期に治療を開始した脊髄脂肪腫に伴う神経因性膀胱の1例  
渡邊 仁人 関西医科大学 腎泌尿器外科
- 32** HIV感染の二分脊椎患者に発症した進行膀胱癌の一例  
松田 結 山梨大学大学院総合研究部医学域 泌尿器科学講座

# 抄 録

教育講演

企画セッション

一般演題

## 難治性排便障害に対する経肛門的洗腸療法 —二分脊椎による排便障害に対する効果を含めて—

味村 俊樹

自治医科大学医学部 消化器外科

経肛門的洗腸療法(transanal irrigation, 以下 TAI)は、逆行性洗腸法(retrograde colonic irrigation)とも呼ばれ、1～2日に1回、300～1,000ml(小児では10～20ml/kg・体重)の微温湯を経肛門的に直腸に注入し、直腸と左側結腸を可及的に空虚化することによって、便失禁を防いだり便秘症状を改善したりする治療法である。洗腸には手間と時間がかかるため、重症の便失禁や便秘症の患者が適応となり、便失禁と便秘症の両症状を有することが多い二分脊椎症などの小児や脊髄障害患者に用いられることが多いが、高度な排便障害を呈する低位前方切除後症候群にも有用とされている。2017年3月に発行された本邦の便失禁診療ガイドラインでも、「逆行性洗腸法は、洗腸にかかる手間と時間に見合うだけの高度な便失禁に対しては、有用な治療法である。」のステートメントとともに推奨度Bの治療法として推奨されている。

海外には Peristeen<sup>®</sup> anal irrigation system (Coloplast, Denmark)などの TAI 専用器具が存在し、有効率70%前後の治療成績が報告されているが、従来、本邦には保険診療として TAI に使用出来る器具は存在しなかった。しかし、2016年10月に、TAI の専用器具としてペリスティーン<sup>®</sup> アナルイリゲーションシステム(以下、ペリスティーン<sup>®</sup>)(コロプラストジャパン、東京)が薬事承認され、多施設共同研究を経て、2018年4月には脊髄障害を原因とする難治性排便障害(直腸手術後の患者を除く)に対して保険適用が認められた。従って、二分脊椎による難治性排便障害を有する小児に使用することも可能である。

本講演では、二分脊椎を含めて難治性排便障害に対する TAI の概要を解説した上で、TAI の保険収載の根拠となった前向き多施設共同研究(対象は成人のみ)の結果を報告するとともに、TAI を日本で安全に普及するための今後の展望に関して述べる。

---

## 略 歴

---

- 1963年5月 和歌山市生まれ  
1988年3月 東京大学医学部医学科 卒業  
1994年4月 東京大学 第3外科 助手  
1998年1月 英国 St Mark's Hospital, Physiology Unit, Research Fellow  
2001年1月 東京大学 胃食道・乳腺内分泌外科 助手  
2002年9月 帝京大学 外科 講師  
2007年8月 寿廣記念会 岸病院 副院長  
2008年6月 高知大学 骨盤機能センター  
部長、特任教授  
2013年6月 医療法人三慶会 指扇病院  
副院長、排便機能センター長  
2018年4月 自治医科大学 医学部外科学講座 消化器外科学部門 教授として  
現在に至る

## 専門分野

---

排便障害の診療・研究

## 活 動

---

- Associate Editor, Diseases of the Colon & Rectum (2014～)  
Committee member of International Consultation on Incontinence  
(2004, 2008, 2012, 2016年)  
日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会 用語委員 (2011～)、  
編集委員 (2014～)、倫理委員 (2017～)  
日本大腸肛門病学会 ストーマ・排泄リハビリテーション委員会委員  
(便失禁診療ガイドライン作成委員会委員) (2013～)  
日本消化器病学会「慢性便秘の診断・治療」附置研究会 幹事  
(慢性便秘診療ガイドライン作成委員会委員) (2014～2016)  
仙骨神経刺激療法講習実行委員会委員 (2014～2017)  
大腸肛門機能カンファランス 世話人 (2005～2015)

## 日本二分脊椎研究会 歴代会長

第1回(1984)	駿河 敬次郎	順天堂大学医学部 小児外科
第2回(1985)	松本 悟	神戸大学医学部 脳神経外科
第3回(1986)	宮崎 一興	神奈川県立総合リハビリテーションセンター 泌尿器科
第4回(1987)	坂口 亮	心身障害児総合医療療育センター 整形外科
第5回(1988)	宮野 武	順天堂大学医学部 小児外科
第6回(1989)	矢田 賢三	北里大学医学部 脳神経外科
第7回(1990)	生駒 文彦	兵庫医科大学 泌尿器科
第8回(1991)	山根 友二郎	帝京大学医学部 整形外科
第9回(1992)	陣内 一保	神奈川県立こども医療センター リハビリテーション科
第10回(1993)	佐藤 潔	順天堂大学医学部 脳神経外科
第11回(1994)	小柳 知彦	北海道大学医学部 泌尿器科
第12回(1995)	諸根 彬	宮城県拓桃医療療育センター 整形外科
第13回(1996)	真家 雅彦	千葉県こども病院 小児外科
第14回(1997)	大井 静雄	東海大学医学部 脳神経外科
第15回(1998)	石堂 哲郎	神奈川県立総合リハビリテーションセンター 泌尿器科
第16回(1999)	藤井 敏男	福岡市立こども病院 整形外科
第17回(2000)	岩谷 力	東北大学医学部 肢体不自由学分野
第18回(2001)	高橋 義男	北海道立小児総合保健センター 小児脳神経外科
第19回(2002)	近藤 厚生	小牧市民病院 泌尿器科
第20回(2003)	沖 高司	愛知県心身障害者コロニー中央病院 整形外科
第21回(2004)	新井 一	順天堂大学医学部 脳神経外科
第22回(2005)	橋都 浩平	東京大学医学部 小児外科
第23回(2006)	西沢 理	信州大学医学部 泌尿器科
第24回(2007)	亀ヶ谷 真琴	千葉県こども病院 整形外科
第25回(2008)	長坂 昌登	愛知県心身障害者コロニー中央病院 脳神経外科
第26回(2009)	山高 篤行	順天堂大学医学部 小児外科
第27回(2010)	百瀬 均	星ヶ丘厚生年金病院 泌尿器科
第28回(2011)	薩摩 眞一	兵庫県立こども病院 整形外科
第29回(2012)	伊達 裕昭	千葉県こども病院 脳神経外科
第30回(2013)	浪間 孝重	東北労災病院 泌尿器科
第31回(2014)	芳賀 信彦	東京大学 リハビリテーション科
第32回(2015)	坂本 博昭	大阪市立総合医療センター 小児脳神経外科 大阪市立大学大学院医学研究科 脳神経外科
第33回(2016)	松尾 圭介	北九州市立総合療育センター
第34回(2017)	加藤 純爾	愛知県心身障害者コロニー中央病院 小児外科
第35回(2018)	山崎 雄一郎	神奈川県立こども医療センター 泌尿器科

# 協賛企業一覧

第35回日本二分脊椎研究会の開催にあたり、下記の皆様からご協力とご支援をいただきました。ここに深甚なる感謝の意を表します。

第35回日本二分脊椎研究会  
会長 山崎 雄一郎

## 教育講演協賛

---

コロプラス株式会社

## 広告掲載協賛

---

アステラス製薬株式会社

エダップテクノメド株式会社

テルモ株式会社

バイエル薬品株式会社

フェリング・ファーマ株式会社

富士システムズ株式会社

株式会社 八神製作所

(五十音順)

第35回 日本二分脊椎研究会  
プログラム・抄録集

---

会 長：山崎 雄一郎

事務局：神奈川県立こども医療センター 泌尿器科  
〒232-8555 横浜市南区六ツ川2-138-4  
TEL：045-711-2351（代表） FAX：045-721-3324  
E-mail: urokcmc@gmail.com

出 版：株式会社セカンド  
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F  
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025  
<http://www.secand.jp/>



第35回日本二分脊椎研究会 事務局

神奈川県立こども医療センター泌尿器科

〒232-8555 横浜市南区六ツ川2-138-4

TEL:045-711-2351

FAX:045-721-3324

E-mail:urokcmc@gmail.com